

昨年度評価(H29年度)								
【重点事業】評価と現状認識								
※	1_事業名	2_年度目標	3_達成 状況	4_29年度 決算①	5_30年度 予算②	6_差 (②-①)	7_評価と現状認識	8_所属
90	受変電設備更新工事	受変電設備及び周辺設備の更新計画の作成。	○	1,620	0	-1,620	地下室に設置している受変電設備に高電圧で引き込んだ電気を使用しやすい電気に変圧し、かつ、遮断装置など安全に使用する装置を更新するための基本計画を策定した。	総務課
3	防犯設備設置費補助金(防犯カメラ)	区に防犯カメラの設置費を補助する。	△	1,374	2,000	626	7地区が公園等に各1台の防犯カメラの設置をし、その設置費の補助を行った。各地区の防犯意識の高揚を図ることができた。	防災防犯対策室
18	業務継続計画策定事業	職員の防災意識を深め、わかりやすい業務継続計画を策定する。	○	17,117	0	-17,117	防災担当職員により災害時における各課の優先業務のヒアリングを実施し業務継続計画を策定した。また、職員への周知を行い防災意識を高めることができた。	防災防犯対策室
18	防火水槽設置事業	市内の市街地及び準市街地に防火水槽を整備する。	○	10,741	11,232	491	市の南部地区にある南部児童館に耐震性防火水槽(40トン)を整備した。震災時に水道水の供給がストップしても対応できる消防水利の確保ができた。	防災防犯対策室
24	滞納整理事務	滞納整理機構に職員を派遣し、徴収困難事案の解決を図る。	△	1,002	3,775	2,773	徴収困難事案85件を滞納整理機構で対応し、税の完納等に導いた。	債権管理課
15	多文化共生推進計画策定事業	外国人市民だけでなくすべての市民と一緒にまちづくりを行えるよう計画を策定する。	○	508	0	-508	外国人市民(約2, 700人)が自立し、社会参加を行い、すべての市民が活躍し誰もが暮らしやすい社会にするための多文化共生推進計画を策定した。	市民協働課

※事業が関連するめざすまちの姿の番号です。No.90はめざすまちの姿関連外事業です。

「2_年度目標」から「6_差」の内容は、各所属の重点事業整理表からの転記です。

昨年度評価(H29年度)							
【主たる中施策事業】評価と現状認識							
※	1_事業名	2_進捗状況	3_29年度決算①	4_30年度予算②	5_差(②-①)	6_評価と現状認識	7_所属
3	防犯対策事業	B	12,432	11,007	-1,425	防犯教室の開催回数が減少したが、自主防犯ボランティア団体数は増加し、小学校の登下校時の見守り活動など体制の強化が図られた。防犯教室と交通安全教室をセットで開催することにより防犯意識を高めていく。防犯灯LED化の補助は予想以上に伸びており、今後も普及啓発に努めていく。防犯カメラの補助は、区に1台としたために目標を達成できなかった。複数の設置を要望している区もあるので、内規の見直しなどを検討していく。	防災防犯対策室
18	災害対策事業	A	17,117	23,306	6,189	災害時の応援体制をより強固なものにするために関係機関と多くの協定を締結できた。今後もいろいろな機関と協定を結び連絡調整ができる体制を強固なものにしていく。耐震性防火水槽は計画通り整備できた。33年以降の整備計画を策定していく。消防団活動は、地域の自主防災リーダーなどと日ごろの訓練を通じて顔の見える関係作りを実施しており、地域住民と連携した活動をしている。消防団員の確保にも引き続き努めていく。	防災防犯対策室
24	収納管理事務	B	11,328	13,291	1,963	現年の収納率は、微増と推移しており、財源確保に寄与した。催告書の発送回数を増やし、窓口などでの納税折衝のスキルを高め、納税意識を高めていく。	債権管理課
24	滞納整理事務	A	8,626	16,026	7,400	滞納整理機構への再加入により困難事案の解消が進み収納率の向上につながった。	債権管理課
15	区・町内会活動支援事業	A	71,961	70,138	-1,823	地域の人の活動拠点である集会所の改修費の補助を行い、交流機会の充実を図ることができた。地区の交流拠点となる新規サロンの立ち上げもできた。この補助制度の活用を周知して拡大に努める。LGBTの研修会や講演会を開催し、理解を深めた。さらに理解を深めるためにさまざまな機会を捉えて啓発していく。	市民協働課
34	市民活動支援事業	A	2,833	4,180	1,347	市民提案型交付金事業の申請件数が伸びてきたが、採択までに至らないものもあった。ヤングコースなど申請件数が増えるように周知方法を検討していく必要がある。区の役員向けのパソコン活用講座は、参加人数の減少が見られるが、自前のパソコンを持参するなど意識は高く講座内容も好評を得ている。パソコンの普及率も高まってきている中、講座の継続について検討していく必要がある。	市民協働課
36	男女共同参画推進事業	A	953	1,242	289	講座参加者満足度は好評価を得ており、女性の社会生活活動への参加のきっかけ作りに貢献した。若い方の参加者を増やすために講座の内容等を検討していく。	市民協働課
25	受付サービス事業	B	10,029	11,673	1,644	窓口改善については、職員アンケートやヒアリング及び来庁者の通行量や目的行動の観測調査を実施して窓口改善支援業務報告書を作成した。また、窓口改善PTで積極的な接客サービスと迅速な窓口処理を行うためにフロアマネージャー制度について検討した。	市民課

※事業が関連するめざすまちの姿の番号です。
「2_進捗状況」から「5_差」の内容は、各所属の中施策評価書からの転記です。